

東京歯科大学同窓会報

七十周年記念事業に就て

会長 田丸将士

いよいよ七十周年記念事業を行う日が近づいて来ました。担当役員、委員の諸君が極めて熱心に努力されて居ますので予定通りの成果を挙げ得られるものと確信して居ります。勿論役員、委員の企画、奔走に対応し会員諸君の協力が素晴らしいからであります。之が七十年間培って来た水道橋精神の精華でありましょう。

記念会も五十年のとき、六十年のときと今度の催して十年毎に行うことが慣例化し恒常化して来たので、今後八十年、九十年、百年……と引きつづき行われることは当然のことと思います。そこで今回の七十周年記念に際し八十周年以後のために其の意義を考えてみるのも無駄ではないでありましょう。

先づ七十年前から現在に至る期間の進歩発達の跡を顧み、其の内容を検討し反省を行うことが第一であります。七十年前の発足当時は、人員も極めて少数であり、歯科医師の社会的地位も低く且つ母校の權威も現在とは比較にならない程乏しく、先は零から出発したと申しても過言ではないでしょう。それから今日のように質量共に膨大なものとなり偉大な発達を遂げたのは、歯科に対する社会的需要の増大もさる事ながら偏に先人の努力の賜であります。従って現在の盛大さを祝うのは取りも直さず先人に対する感謝を意味するものであります。今回の記念事業の筆頭に高山紀齊先生の胸像復元を挙げたのは先人に対する感謝の念を最も力強く最も端的に現したものであります。尙其他のものももうの事業も現在の会の力を強力に具現したもので、七十年に亘る母校の先生方と、同窓会々員の異常な努力に対する謝意を意味するものと、理解して頂き度いのであります。

以上のように過去の実情認識を基にして八十周年に対応せんとするならば会の経済的基礎を強固にする施策を考えねばならぬのは当然であって、今後とも倍旧の御協力を念願して止みません。

同窓会 創立七十周年記念祝賀大会 御通知

◎第一日 演奏会 昭和四十年五月十四日(金)

◇会場 厚生年金会館 ◇開館 午後六時
◇出演 ベーターマーク指揮 読売日本交響楽団

◇曲目 モーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 モーツァルト交響曲第四一番(ジュピター) シューベルト交響曲第八番(未完成) メンデルスゾーン組曲「真夏の夜の夢」作品二二

◇会員券 S 一、五〇〇円 A 一、〇〇〇円 B 八〇〇円 C 六〇〇円(全席指定)

◇主催 東京歯科大学同窓会 東京歯科大学学生会
東京歯科大学父兄会 読売新聞社 日本テレビ放送網 読売テレビ放送網

◇後援 東京歯科大学父兄会 読売新聞社 日本テレビ放送網 読売テレビ放送網
地方の御同好の方は前金御同封の上、本部宛至急御申込み下さい。よい席を取ってあります。

◎第二日 学内展示 器材展示及び講演会 昭和四十年五月十五日(土)

◇学内展示 ○会場 専門課程及び病院 進学課程及び市川病院 ○時間 午前—午後
新設なるアイソトープ研究室など日々進歩する歯科医学の研究、臨床の粋を解放展示し、広く同窓の方々に母校の発展を直接見聞していただくようにしました。

◇歯科器械、材料の展示 ○会場 専門課程ホール ○時間 午前—午後
従来の同窓会の例より一層大規模な展示を行い、国産のみならず外国製品の展示、即売を行います。

臨床歯科の益々の向上のためにお役立て下さい。
◇講演及び学術映画会 ○会場 母校講堂 ○時間 午後一時—四時
○講師 「矯正と小児歯科」 日本大学歯学部 岩垣 宏 教授
「歯科医師七十年の回顧」 医科歯科大学歯学部 山田 平 太 講師

○学術映画(癌と放射線)(交通外科)等
当日午後四時以後の行事はありません。各クラス会などに当てられて、旧交を暖めて下さい。

◎第三日 式典 講演会 祝賀宴 昭和四十年五月十六日(日)

◇会場 椿山荘 ○時間 午前十時—午後七時
○式典 ○時間 午前十時—十二時
○次第 同窓会創立七十周年記念式典(舍物故会員追悼式)、高山紀齊先生胸像除幕並びに贈呈式、福島先生古稀祝賀記念品贈呈式、新旧学長歡送迎会

◇講演会 ○時間 午後一時—四時
○講師「時局論評」 大宅 壮一 氏
「東南アジアの政治情勢とベトナム」 毎日新聞外信部長 大森 実 氏

◇鹿島俊雄後援会 ○時間 午後四時—四時三十分
◇祝賀宴 ○時間 午後五時—七時 ○会費 一、五〇〇円

立食形式の盛大な宴が開かれますので奮って御参加下さい。あらかじめ参加人員を本部迄お知らせ下さい。

(次の原稿締切りは、五月二十日(木)です)

第七十回(大学)・第十五回(衛生士学校)卒業式挙行さる

東京歯科大学第七十回卒業証書授与式は、三月二十五日午後一時三十分より母校ホールで挙行された。

長尾教授の司会により、まず国歌斉唱つづいて杉山学監の学事報告が行われた。現在本学に在籍の学生は進学課程、専門課程合せて九百二十名で、今回の卒業生はこのうち百四十名であった。これを専門学校設置

以来の卒業生と合せると七千六百七十三名になり、高山歯科医学院設置以来の卒業生を通算すると七千九百六十三名になるとのこと。

続いて、卒業生一人一人に福島学長より証書の授与が行われ、温情あふるる告辞の後、学校理事長及び同



窓会長の祝辞が述べられ、学生代表の送辞、卒業生代表の答辞、校歌合唱が行われ四時前盛大裡に終了した。

続いて第一教室で父兄との懇談会が行われた後、午後五時より、ホールオーケラ平安の間で卒業生による謝恩会が開かれ、先生、父兄共々に終始和やかに懇談の後七時に閉会した。

歯科衛生士学校第十五回卒業証書授与式は、これまで大学の卒業式の後で行われるのを恒例としていたが、本年は関根校長が中華民国歯科医学会へ出張する都合上数日繰上げて三月二十二日、午後母校ホールで行われた。



本年度の卒業生は三一名であった。これを創立以来の卒業生に合すると総数二百六十五名になる。式後日比谷の国際日活会館にて謝恩会が催された。

新卒業生歓迎会

第七十回の卒業生百四十名の同窓会入会歓迎会が、三月二十三日午後三時より、母校講堂において行なわれた。

天野本部理事の司会で、田丸会長大井学長代理、白須賀父兄会会長の挨拶があり、その後同窓会員章の贈呈が行なわれた。続いて、後藤理事より会則の説明があり、同時に松宮理事より、来る五月に行なわれる七十周年記念祝賀大会の説明の後乾杯、懇談に移り、五時に閉会した。



牛込支部総会 二月十二日 五十嵐理事
福井県支部総会 二月十三日 松宮 理事
王子支部総会 二月十三日 永田 監事
川崎水橋会 二月十三日 大井副会長
愛知県支部連合総会 二月十四日 松宮 理事
大森支部総会 二月二十六日 後藤 理事
渋谷支部総会 二月二十七日 松宮 理事

▼お詫びと訂正
先号の支部長交替の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

石川県支部長 平田正儀は香川県支部長 平田正儀の誤りです

▼二月講演会
同窓会二月講演会は、例年通り、大学学会の翌日二月二十一日(日)午後一時から母校講堂で行なわれた。今回は、木村吉太郎、山本義茂両教授の海外出張報告(五頁参照)と、日本歯科医師会専務理事、満岡文太郎氏の時局問題に関する講演が行なわれた。

▼七十周年記念会委員長
七十周年祝賀大会の各部門における役員は先に決定委嘱されたが(次頁)、その後三月三十日に母校会議室に於て、第一回委員長会議が開かれ、細部にわたる協議がなされた。現在、これに基づいて、各部門では委員長を中心に、幹事、委員多数により、記念会行事の準備が着々と実行に移されている。

本部短信

▼評議員追加
会則第十七条一項により評議員委嘱西村寛猛(石川県)
▼役員出張

母校より

人事

教授昇任 助教授緒方鍾(市病眼科) 四〇、四、一

講師昇任 助手細川和子(進学課程生物) 四〇、四、一

新 任 講師山崎順康(進学課程数学) 四〇、四、一

辞 職 講師延島三男(矯正) 四〇、三、三一
講師宝田勇(市病歯科) 四〇、三、三一
講師森匡子(生化) 四〇、三、三一
助手岡本日出夫(口外) 四〇、三、三一
副手花沢清磨(補綴) 四〇、一、三〇
助手猪狩敦(補綴) 四〇、二、三三
副手小出恒子(薬理) 四〇、三、三一

専攻生採用 多胡 彬(生理) 四〇、三、一七
尾上吉之(生理) 四〇、四、一
江川郁夫(病理) 四〇、四、一
関口恵造(病理) 四〇、四、一
仲谷純三(解剖) 四〇、四、一
西村寛猛(解剖) 四〇、四、一

◆松宮教授は、今回文部省から私立大学研究設備審議会委員を委嘱された。この委員会は、全国百余校に上る四年制以上の私立大学における研究設備に対して国費による助成を主として行なうことになっている。

◆中華民国(台湾) 歯科医学会から大井院長、関根副院長が招待され三月二十五日出発された。約二週間の予定で、講演ならびに視察旅行を行なわれた。

七十周年記念会

役員名

本部では七十周年記念事業を行うにあたり、かねてから担当役員の人選を行っていたが、去る三月十二日これを決定、委嘱し、同日午後五時より、第一回の打合せ会を母校クラブ室にて行った。決定役員名は左の通りである。

- 名誉会長 福島秀策
- 名誉副会長 杉山不二
- 同 河村弘
- 同 矢崎正方

- 名譽顧問 石河幹武
- 顧問 榎本美彦
- 副会長 大田丸将
- 同 荒井龍清
- 同 菅野修
- 同 荒谷政
- 同 他四名
- 本部 幹事長 松宮誠一
- 副幹事長 堀真一
- 同 渡辺富士夫
- 幹事 (庶務)主任 天野博徳
- 高木昂
- 山崎数男
- 後藤芳郎

松宮教授

科学技術会議委員に就任



松宮教授は四月一日付を以て佐藤内閣総理大臣より科学技術会議委員に任命された。

この構成や任務の上からも、日本学術会議より高い法的地位にあり、かつ著しい強力なものであることが諒解される。

科学技術会議は総理大臣に直属するわが国最高の科学技術行政振興機関で、議長には総理大臣が就任し、官庁方面からは大蔵大臣、文部大臣、経済企画庁長官、科学技術庁長官および日本学術会議議長らが参画し、一方学界、経済界、産業界の各方面から総理大臣の任命する学識経験者らが参加している。重要な任務は科学技術振興に関して(1)基本政策の樹立、(2)各省庁間における施策の調整、(3)長期的かつ総合的研究目標の設立、(4)重要研究推進方策の基本策定、(5)日本学術会議への諮問などで、組

- (募金)主任 宝田八忠
- (會計)主任 中久喜令藏
- (広報)主任 永田令昭
- (記録)主任 五十嵐明
- (事務)主任 田上久男
- 高山先生胸像復元委員会 委員 山本義弘
- 副委員長 松井隆蔵
- 同 山本義弘
- 同 五十嵐昭
- 同 東昇平
- 同 瀬端正之
- 同 白須賀二郎
- 式典委員会 (委員)長 長尾喜景
- (副委員)長 相本三衛
- (幹事) 高山三衛
- (委員) 高山三衛
- 講演委員会 (1)歯科医学関係 (委員)長 米沢和一
- (副委員)長 上条雅彦
- (幹事) 高添一郎
- (委員) 恩田千爾
- (委員) 山本義茂
- (一般関係) (委員)長 高木圭二郎
- (副委員)長 木下隆治
- 山崎数男
- 記念誌編輯委員会 (委員)長 吉本為之
- (副委員)長 山本為之
- 同 関根永滋
- (委員)長 石川達也
- (副委員)長 田辺明
- (委員)長 浅井康宏
- (委員)長 高橋一祐
- 学内展示委員会 (委員)長 三崎鈴一
- (副委員)長 上野喜一郎
- (委員)長 河合真造
- (副委員)長 鈴木弘子
- (委員)長 吉田正雄
- (委員)長 河西静也
- (委員)長 河野也
- (委員)長 高川島和
- 歯科器材展示委員会 (委員)長 北村勝衛
- (副委員)長 竹内光春
- (委員)長 金竹哲也
- (委員)長 後藤芳弘
- (委員)長 吉田宅子
- (委員)長 鹿内忠臣
- 会場設備委員会 (1)大学関係 (委員)長 田村俊吉
- (副委員)長 鈴木芳太郎
- (委員)長 坂田三弥
- (委員)長 宝田三弥
- (委員)長 小沼作兵衛
- (委員)長 天野博徳
- (副委員)長 渡辺富士夫
- (委員)長 原野
- 祝賀宴委員会 (委員)長 中久喜八
- (副委員)長 堀真一
- (委員)長 加藤倉三
- (委員)長 田辺明
- (委員)長 渡辺富士夫
- (委員)長 白須賀二郎
- (副委員)長 長尾喜景
- (委員)長 渡辺富士夫
- (委員)長 服部玄門
- (委員)長 白田久仁子
- (委員)長 永井久仁子

「ペーター・マーク氏 略歴」

七十周年記念演奏会において今回読売日本交響楽団を指揮されるペーター・マーク氏は、ヨーロッパを舞台にモーツァルト演奏家として高く評価されているスイス生れの新進の指揮者である。

一九四五年かの有名な指揮者故フルトヴェングラーの補助指揮者としてデビュー以来、一九四九年には昨年来日したエルネスト・アンセルメの率いるスイス・ロマンダ管弦楽団の客演指揮者に招かれてから脚光を浴び指揮者としての確固たる地位を築き本格的な活躍を始めたのである。

氏はモーツァルトとメンデルスゾーンの演奏には特に定評があり、これらの作品が必要とする爽快さと情緒の二つの要素を持ち合せた貴重な指揮者である。

新同窓生名簿に對する期待とお願ひ

米 沢 和 一

昨年十一月、全同窓生に向つて発せられたアンケートに従つて、近く新名簿が印刷・有償配布されるとき、昭和三十六年刊行の旧名簿より数えて五年目に、大井副会長が委員長の下、わたしは今般名簿編集の顧問を委嘱された。七十年前の明治二十八年に生れた、高山歯科医学院の卒業生第一号に始まって、東京歯科医学院、東京歯科医専の本科・別科特別生を経て、東京歯科大学、同大学院卒業生に及ぶ、本学直系の約八千名がこの新名簿に連載される。卒業各年度のクラスを別に編集せられ、氏名は五十音順に並べられることとである。

明治四十一年、歯科医専第一回卒業生の出た頃、傍系の東京歯科大学が新発足している。その付設歯科医専機関として技術実習、基礎学実習、学説受験科の三種講習会が順次に、その卒業生や講習生中の有志も、正式の同窓生として認められていた。その多くは関東大震災の前後に閉鎖されているが、昭和二年、現在の本館が改築される頃まで続いた講習会もある。そのうち新名簿連載数は約一千名に上り、終戦前の東友会こそ傍系の同窓会に當るものと言えよう。

以上の直・傍系の同窓生の他に、血盟イヌムの『来る者はこぼさず……』式に、主として大正時代の直・傍系校の中退者、歯科器材関係のメーカーや母校教・職員中にも同窓会員に加えられたものもあり、昭和に入つてからも、今は廃校となつた京

北歯科医学校、女歯専校出身者や、生田信保博士門下の引揚朝鮮歯科医学会会員など、集団で同窓会入りの認められた例もある。今以て、地方支部からの推薦者は、出身校の如何に不拘、同窓会の本部理事会でそのまま入会が認められていた。この推薦会員は千五百名を越えるものと思われる。

以上の三系統の全同窓生(？)は一万人以上の老大な数となり、これを生存者、故人の別に、氏名を五十音順に並べた両種索引と、クラス別、系統別の名簿が基核となつている。これに講師以上の現役教員の名簿と、学校支部に始まる地区別支部会員名の一覧表がつく。会則や役員名一覧表と名譽会員(旧特別会員)の名簿もつき、巻末には歯科衛生士学校卒業生一覧表があつて大変重宝である。ただし戦後になつて、旧制高校に當る東歯大子科卒業生で学部へ入学しなかつた者は同窓生扱はしない。また、予備国家試験合格者で、本校病院でインターン生として一年間実地修練を経て本試験に合格、晴れて歯科医となつた者で、同窓会への未入会者が相当数いる。同窓生以外の人で本学専攻生として在籍した者もまた多数いるのだが……。

同窓会員中、直系の者のみ終身会員としての権利、義務があり、傍系と推薦会員は、退会届一本で名簿から脱落していく仕組になつてゐる。わたしの入手した限りでは、戦前では大正十五、昭和五、九、十一、十二年に名簿が刊行せられ、戦後では二十五、三十二、三十六年刊行の三冊が出てゐる。以上の八冊の名簿を通覧すれば、前記の、出たり入つたりのない同窓生の実状が判然と認められる。ただし新名簿では、傍

系会員だけは、一度でも前記八冊の名簿に出た者については、その生死を追求して連載することとした。この至難な傍系会員の調査は、実は昨年の夏から秋に始めていたので、そのうち、終戦直前に外地にいた本学同窓生で、引揚など、生死の程も判明せぬ次の方々についての消息お知りの方は、至急母校内わたし宛一報願ひたい。

(住所は名簿記載當時のもの)。

- 渥美 貫光 (昭5当時) Apurafoto Nun 127 Calle mguel Leado 3-3 Baiss Yeracruz ver
- 有田 登 (昭31) 248-252F-rsset St., Rangoon, Burma
- 今村 兵次 (昭13) 朝鮮元山府仲町二ノ一三
- 内田 秀道 (昭9) 台湾基隆市日新町三ノ一
- 大久保直広 (昭13) 南洋サイパン島ガラパン街
- 久保山三雄 (旧姓岩佐) (昭13) 朝鮮釜山府大新町一、一一八
- 小松 季治 (昭13) 24Sanbougan Hoofd sleat Keidir Java
- 佐々木正夫 (昭5) 台湾高雄州潮州郡潮州街
- 佐藤 忠司 (大15) 朝鮮木浦府大和町
- 鈴木 清香 (昭13) 樺太豊原町西ノ二南二、一
- 関根 有 (昭5) Lashio Road maymyov pper Burma Via Rangoon
- 田中 吉春 (昭13) 朝鮮羅南邑生駒町七
- 佃 稜 (昭11) 樺太敷香郡敷香町宮通南二ノ一

友成素城夫 (昭13) 樺太知取町初音町三ノ一九

中村 実雄 (昭13) 朝鮮平壤府泉町三

中村竹三郎 (昭9) 満洲撫順東三番町三六

野村 親俊 (大15) 朝鮮馬山都町一丁目

島中 繁藏 (昭13) 満洲浜江省牡丹江大安街

福田定次郎 (昭13) 台湾花蓮港街

今秋施行の日本学術会議 第七期会員選挙の行事予定について

三月末日限りで有権者となるための新規登録用カードの登録受付が締切られると、本年十一月二十五日の投票締切日までの間には、次の順序で選挙行事が進行する。

五月上旬には、新規に有権者となる者が、資格審査会の議を経て決定する。そして五月上旬に、カード登録者中の有権者資格不認定となつた者だけに對し、不認定通知が、当人の住所宛発送される。不認定通知に記載の日付から数えて二十日以内なら、異議の申し立てが出来る。

さて、在来の有権者に加えて新有権者を合せての全有権者名簿は、七月一日より十日間一般の縦覧が許される。別途に、わが選対本部では、予約で名簿が入手出来るのである。これを見た上での名簿に對する異議申し立ては七月二十日限りである。八月上旬異議申し立てに對する審査の結果の通知が、本人の住所宛発送

藤井 昇一 (昭13) 台湾台北市明石町二ノ一

堀田 六助 (昭13) 朝鮮全羅南道松汀里駅前

三輪 敏夫 (昭13) 樺太泊居港

村瀬兎四郎 (大15) 朝鮮忠清北道永同本町

渡辺 榮 (昭13) 満洲ハルビン市馬家溝國課街

以上

送せられ、追加有権者名簿の縦覧が八月中旬に行なわれる。

七月十一日より二十五日迄の間に立候補者推薦届が受付けられる。八月二十日選挙公報掲載文受付が締切られ、九月二十日迄に推薦用ハガキの検印を受ける。

十月中旬より十一月上旬の間に投票紙と選挙公報等が有権者の住所宛発送せられ、投票締切は、前記十一月二十五日東京・上野学術会議必着である。十一月三十日迄に開票同日付で当選人決定の告知がある。

一言、ご注意迄に申し上げておくが、有権者が本年中に住所異動した場合、遅滞なく東京都台東区上野公園内、日本学術会議中央選挙管理会宛、新旧の住所及び氏名と、第七部、歯学、〇〇地区、を記したハガキ一本を出しておいて欲しい(日本全国を次の七地区に別ける。北海道、東北、新潟山梨を含めた関東、三重を含めた中部、近畿、中国四国、九州)。新制歯・医学の博士号をとつた場合も、その旨届け出ると有利である。すべて不明な点は、往復ハガキにて母校内、学術会議選対本部迄お問合せ下さるよう。資格不認定通知あらば即刻一報を。(係より)

選挙行事が進行する。

五月上旬には、新規に有権者となる者が、資格審査会の議を経て決定する。そして五月上旬に、カード登録者中の有権者資格不認定となつた者だけに對し、不認定通知が、当人の住所宛発送される。不認定通知に記載の日付から数えて二十日以内なら、異議の申し立てが出来る。

さて、在来の有権者に加えて新有権者を合めての全有権者名簿は、七月一日より十日間一般の縦覧が許される。別途に、わが選対本部では、予約で名簿が入手出来るのである。これを見た上での名簿に對する異議申し立ては七月二十日限りである。八月上旬異議申し立てに對する審査の結果の通知が、本人の住所宛発送

▼群馬県支部

筆不精という言葉がある。そういう人間が存在するから、こういう言葉があるのだから、そういう言葉があると自認しているのだが、東歯同窓会の中にあっても、一大雄藩をもってなる群馬県支部からの便りを一回もしないと思つては、真に申し訳ないと思ひ敢えて筆を取ることにした。筆頭生花という様な文才があるわけではないので、自然報告形式になつてしまふが、お許し願いたい。

七月十一日 群馬県支部 総会

伊香保温泉、塚越旅館で、母校よりは、大井先生をお迎へし、盛大に開催された。師弟の情なんともいへぬ暖かい雰囲気、大井先生も胸算用以上の学債の応募額に満足され、落合築での利根川の名産鮎料理に舌鼓を打たれ、帰京された。

当日の出席者次の通り

- 高松重三、首村定夫、森下寿夫、今野一鷹、矢内徳太郎、磯 淳治、服部久夫、磯 誠三、高松和三、森下泰夫、大野博重、矢内 融、宮下一郎、星野行弘、大山栄一、築瀬滋男、三丸瑞穂、長沢麒代次、塩崎省吾、出井義教、田部井三雄、小杉清、栗原和夫、笠原武男、

山川卯平、正木光児、原 陽、井田治、松坂俊雄、守谷種尾、太田虎太郎、守谷道明、真下俊一、室橋和夫、久保益三、川越文雄、富沢憲男、宮下仁夫、片野光一郎、宮下幸男、関根支次、上岡仙吉、島野俊雄、神永紀美雄、斎藤静三、武安正嘉、北村国男、



十一月十四日 学術講演会

春の総会は、お祭りの行事とし、秋に学術講演会を開催することとし、三十八年度の第一回長尾先生の講演に続いて、本年は第二回目である。今回は市川病院院長、内科部長鈴木弘造先生をお迎えして、毎日の保険診療に骨身を削り、自分自身の健康管理を忘れては向もあるの、この際吾々自身の健康を振り返って、みるという意味に於て、歯科医の健康管理の一環として、「成人病の管理」という演題のもとに、糖尿病を中心とした鈴木先生の熱心な講演を

拝聴した。

終了後鈴木教授、それに一緒に来県された荻野講師を伊香保温泉に御案内して懇親会を開催した。鈴木先生には支部会員の中にも、市川病院に入院してお世話になった者、家族がお世話になった者等もいて、非常になごやかな雰囲気の中に、同窓会のムードを満喫して戴いた。

この懇親会の席上、鹿島俊雄後援会群馬県支部を設立した。

懇親会出席者次の通り

- 袋 博、森下寿夫、今野一磨、矢内徳太郎、袋 仁美、木下裕之、磯 淳治、服部久夫、森下泰夫、矢内融、宮下一郎、大山栄一、出井義教、正木光児、松坂俊雄、太田 実、真下俊一、川越、又雄、富沢憲男、片野光一郎、斎藤静三、

十二月十三日 同好会主催学術講演会

(この会は昭和十六年以降の卒業生でつくっている会である)

理工学教室、佐藤助教教授による「最近の歯科材料について」の講演会開催

二月十三日 同好会主催学術講演会

口腔外科学教室、高橋庄二郎助教教授による

「口腔出血について」の講演会開催

十一月二十五日 二十日会主催学術講演会

(この会は前橋市の比較的若い同窓会員でつくっている会である。)

保存学教室浅井先生をお招きして、ネオ製菓と協催で開催

三月十四日 猿ヶ京温泉に於て三崎先生との懇親会

これは当日群馬県歯科医師会主催の学術講演会に来県されたのを機会に、三崎先生を囲んで開催されました。

三崎先生は昨年二月やはり県歯科医師会主催の学術講演会に、又同好会主催の学術講演会に二回、高崎市に一回と、余りにもレントゲンづい

寄稿

水道橋精神とは何か

村越 或雄

当区に於ける同窓有志の意見を代表し、拙文を寄稿致します。

最近の同窓会報は新鮮味が出て面白くなった事は会員諸兄の認むる如く、御苦労の程御礼申し上げます。

正月の名刺交換会に就いても改良の英断は忝なく感謝に堪えません。折角フレッシュな感覚になった同窓会報の前号に某教授が寄稿された水道橋精神を復元せよの論旨は、之が単に学生相手にその立場より為されたものなればともかく、広く同窓各位にまで呼びかけられたとなると、我々にとって迷惑千万な時代錯誤と申さねばなりません。

戦後思想的背景が混乱したままに経過した今日、その精神教育に大きな歪が生じた事は等しく識者の認むる処であり、御同感に思います。

併しこの明かに困った姿が同窓会の内にも水道橋精神の消失と云う形で現存するとし、その再興を在野の我々会員にまで求められた上、『魂のない人類はやがて滅亡する』などと悲劇主義者の妄想的言辭で結んで居られるのは全く理解に苦しむ

た群馬県からの講演依頼にどうした事かと目を白黒。その他六月には保存、放射線の医局旅行に御利用戴くなど中々賑やかである。

以上をもちまして、群馬県支部便りを終ります。(服部記)

私共同窓は、支部であれ、クラス会であれ、それぞれの地域的営みの中で、事に当っては本能的に助け合い、互助の倫理を尽して居ります。

この上更に、空虚な精神教育の押し売りなどを頂戴する気持は毛頭御座居ません。

教授の説かれる伝統の水道橋精神と云うものが、そのパターンが如何の様なものであるにしても、現状では下から上への一方通行の奉仕精神に外ならないではありませんか。之では母校に対する愛着はあっても愛そのものを抱く気持にはなれないのです。

東歯同窓会も齢を重ねて古稀となりました。五月に挙行される祝賀行事が旧来の如く大老主義の限られた方々の為のものではなく、広く全会員のものである様、期待し、注目したいと思います。

(目黒支部 二六会)

クラス会だより

十 年 会

大正十四年卒

十年会総会の御通知。学窓去つて、早や四十年、共に机をならべて勉強した頃の気分にしたることも悪くはない。聞き度い気持ちになる。物古した友人のことも気になる時には、旧友と語り合うことも、淋しい気分が満足し得られることもある。クラス会こそ、絶好のチャンスだ。今年五月には東京で開催されることになったので、東京在住の数人は秋山君を中心に会合数回、実地見分三回の結果出来たプランこそ、参集する旧友に充分な満足を与えるためである。近代に知られた世界的な東京都を一顧の上、箱根一泊、翌日熱海で、お別れの会等を行なうのであるが、特に集会場所である近代的設備のととのった母校こそは、木造家屋に学んだ旧友には、感慨深いことと思う。五月九日、十日両日は、是非参加されたい。(久保田)

壬 戌 会

大正十五年卒

「五月十五日」壬戌会を開催しますから、当日上京される会員は一応在京幹事宛御一報下さい。

三 辰 会

昭和七年卒

三辰会「ニュース」第三十号発行
本会の昭和三十九年度の総会号が先

日、皆様の御手元に発送されました。毎年正月の読物として親しまれてきただけに、発行所の都合上として遅れたことは申し訳ないと思つておられます。昭和四十一年には正月にお届けできるように努めます。級友各位も、通信文、原稿などをお早目にお送り頂ければ幸甚です。次は同一「ニュース」誌上にも書いてあります。年額五百円ですが、会費の点です。年額五百円が三十六万二千七百円也の多額になつております。どうか、御面倒様ですが、何かの方法で、五千円でも、一万円でも、とにかく御振込下さい。当分は御心配なく過せるわけです。よろしくお願い致します。郵便ですと、東京第五九五六号清水正一宛で、払込んで頂きます。各位別々の明細は先日「ニュース」中に同封してあります。

来る五月十五日(土)、十六日(日)両日同窓会七十周年記念大会が催されますが、この時期に本会も会合を計画しております。七十周年の祝賀同窓会御出席と共に、久しぶりの三辰会員との懇談会にも多数御来会をお待ち申し上げます。何か御希望がありますすれば幹事の方へ御申し出下さい。(幹事記)

追記 三辰会三十周年記念アルバム写真は近々印刷致します。写真は何でも結構です。一枚でも多数の方々の近影をお届けしたい考えです。何なりとお送り願えれば幸甚です。

昭 伍 会

昭和九年卒

去る二月十五日柴又の川甚で関東

地区の昭伍会を開催したところ、十二名の参集を得た。

出席会員はいずれも元氣一杯お互い幸福を祝ひ合い、会が進むにつれほのぼのとしたムードが溢れ、懐旧談に花が咲き、又お国振りの民謡やお得意の十八番が出て、やんややんやと騒ぐうち、時のたつのも忘れるほど盛会であった。

特筆すべきは、昨年五月昭伍会三十周年記念祝賀会挙行の際、先約にさまたげられ御臨席を頂けなかった福島学長先生が、今度は御多忙の中に寸暇をお割き下さって御出席下さったことである。先生から昨年私共が記念事業として御寄贈申上げた母校屋上の国旗掲揚塔に対して鄭重な御言葉を頂戴した。この掲揚塔が有意義に活用されておる一例として、外国の学者の訪問を受けた際にその国旗を掲げ歓迎の意を表したところ、何ものにも優る感銘を与えたというお話を伺い、一同お喜びを新にした。話は学生時代のことに戻り、吾々身に覚えのあるところであるが、いわゆるあばれん坊揃であったため、度々当時の生徒監福島先生に身の細るような御心配をおかけした話が出て、余りほめたことではないが、その意気や壮とすべく、現代学生気質とは少し違つたものがあったという結論になった。

早春の川畔は風もつめたく、くみ交す酒の味は一段とうまく、時を忘れて浩然の氣を養ふことができ、最後に武藤君がものした専門家はだしのハミリ映画「昭伍会の三十周年記念」を觀賞し、万才と校歌を齊唱して五月の再会を約して散会し

た。出席者(順序不同)次のとおり。

武藤 悟 難波重臣 福山久治
牟田 栄 大津晴弘 安保重憲
中川六男 川上四郎 藤本敏雄
荒井 栄 森永俊夫 赤沢 実
佐藤新一 及川彦一 樋口 梓
薬師寺忠 竹内民勝 落合 勇
渋谷孝磨 池田健夫 増田喜久次郎
三崎鈿郎 (大津晴弘記)

急 告

昭伍会総会を左記により懇親ドラマイブを兼ねて取り行ないます。

集 合 五月十五日午前十一時三十分、母校病院玄関前行き先 甲州石和温泉

詳細は追つて御通知いたします。

鹿 鳴 会

昭和十年卒

今年三月でわれわれが昭和十年に母校を巣立つてから丁度満三十年になりましたが年月の経つのが余りにも早いのに今更ながら驚いている次第です。そこで、本年は東京以外の地でゆつくりと寛いで三十年の積る思い出話でもしてはどうだろうかということが、昨年十一月の鹿鳴会総会で提案され、全員一致で決定いたしました。幹事一同協議の結果、本年五月十四日から十六日まで行なわれる東歯大同窓会七十周年記念の祝賀を機に、左記により記念事業を行なうことになりました。全員御参加下さるよう御願いたします。

記

鹿鳴会三十周年記念祝賀会

一、日時 昭和四十年五月十四日午後一時

後一時

一、場所 静岡県熱海温泉 新道旅館(二泊)

一、経費 金七、〇〇〇円(交通費は含みません)

一、日程 五月十四日午後一時―四時三〇分

木村、中村両君の外遊報告 午後六時―八時宴会、一泊、五月十五日朝食後現地で解散

一、予約 出席の方は予約金三、〇〇〇円也を四月十日までに御送金下さい。

一、内容(1)各会員の近況報告(追って往復ハガキで御願います)(2)木村、中村両君の外遊記(3)三十年の想い出(会員より募集)(4)その他

一、費用 鹿鳴会々費のうちより支弁。なお、昨年の総会で、昭和三十九年度から会費を五〇〇円とすることに決定いたしましたので御諒承下さい。(木村吉太郎記)

蜂 和 会

昭和十二年卒

前号にも既に予告を致しましたが、本年度のクラス会につき、三月十四日再び現地に準備委員会を開き細部に亘るスケジュールを決定致しましたので此処に御報告申し上げます。

日 程

五月二日(日) 三日(祭)

日時

五月二日(日) 三日(祭)

二日午前十時三十分国鉄伊勢市駅前集合貸切バスにて外宮内宮正式参拝。

太々神楽奉納。供膳拜受。それより伊勢志摩スカイラインをドライブしパールアイランド見学十六時四十分宿舎鳥羽国際ホテルに到着十八時より大懇親会。翌三日は朝食後約十時頃解散。自由行動 会費 一万円 其他

①当日は出席者全会員に最高級の真珠ネクタイピン、御同伴の御婦人方には恰好なる真珠製品物色中（前回の会報にてネットレスと書きました）が、これはメーカーに当たってみました。とてもこの会費では賄いかねますので目下名案考究中。②当日は新しい名簿をお渡し致します。③只今迄の出席確定者は八十数名です。（夫人を含めて）④御夫人同伴の方、お子様同伴の方々は各々個室（洋室）の用意を致して下さいますからどうか御安心の上御参加下さい。⑤田島君より各位に御連絡致しましたが、御返信のない方が相当ありますので名簿作製上非常に困却致して居りますから御欠席の方でも住所其の他を再確認する為必ず田島君宛御連絡願います。若し御連絡がない場合は物故者欄に記入するかもわかりませんが念のため。⑥会費も出来得る限り早い機会に田島君宛に御送金願います。

尙当日準備委員会に出席した諸兄 田島 高木、加藤、横井、松崎、坂井、大口、長坂、柘植 （会場の鳥羽国際ホテルにて） 三、一四日 柘植記

仁 蜂 会

昭和十五年卒

全国の皆さん、今年は卒業二十五周年です、全く早いものです。既に連絡しました如く、五月のゴルドンウイークを利用して、三泊四日伊勢、紀南方面、鳥羽、白浜、勝浦と家族ぐるみの記念旅行を関西の諸君が熱心な肝入で計画発表された所今までに五十数名の申込で、さぞ盛大愉快な想い出の行事となることでしょう。

なお、五月十五日（土）夜六時から母校裏の「天久」二六一―二二九一で母校七十周年祝賀を兼ねて、全国クラス総会（会費二千二百円）を開きます。当日は、母校在学の皆さんの二世（約二十名）を招いて大いに歓を尽くす計画ですから充分協力下さい。（〇の方も）

久振りで、会員名簿やら会誌の発行（二十五周年記念）を計画しておりますので、今迄連絡不充分の方もこの際、積極的に御協力下さい。会費は年五百円です。未納の方はよろしく願います。なお幹事は愛知、高田、山口、堤の四名です。御意見など、どしどし送って下さい。（堤記）

一 志 会

昭和十七年卒

クラス会総会についてのアンケートの集計をお知らせします。三月十二日現在のものです。

- 一、回答数 六十名
一、時期 九月五名、十月三十五名、十一月三名、その他二名
一、期間 一泊二日十四名、二泊三日二十五名、その他二名
一、参加者四十名、不参加十一名

未定九名。同伴する人十七名。未定九名。同伴しない人十六名。

一、特に希望する所として能登半島三名。その外一名づつ東尋坊、永年寺、金沢、和倉、山中、片山津、山代、湯涌の各温泉でした。以上結果を要約すると 十月中旬に二泊三日の日程で金沢を出発点として、山中、山代温泉を中心として行なわれることになると思われまます。参加予定者は約四十名家族を合すると六十名内外になります。金沢の西村君により、具体的な計画がたてられ、皆様にお知らせすることになると思いますが、今から楽しみに準備しておいて下さい。

なお、全国各地より続々とクラス会費の納入をいただき、大変心強く感謝しております。いずれ別報で氏名をお知らせします。

十 六 会

昭和十九年卒

昭和三十九年度総会は十一月七日熱海ニューフジヤホテルに於いて開催されました。

本年は卒業二十周年記念との事で全国各地より遠くは熊本、青森、香川、徳島、岩手、新潟等からも多数参加され家族（十三組）を含めて七十三名の多きに達しました。又卒業後二十年初の参加者もあり久方ぶりの対面に談話も大いにはずみ、同ホテル最大の宴会場に和気旺盛するうちに我妻幹事の司会により総会は円滑に楽しく進められて無事終了。記念品（二十周年を祝して特に福島学長の御好意により御得意の宝珠を御

執筆願って飾り皿にやきつけたもの）会員名簿を参加全会員に御渡しし、記念撮影ののち懇親会に移り渡岐多数を交えて酒肴を交しつづ、福引き、アトラクション等を楽しみ、歓談は何時尽きるとも思われず非常に愉快な一夜を過ごすことが出来ました。

翌朝食後又の再会を約して同ホテルにて解散。各グループに分れて伊豆スカイライン箱根方面の観光を行いました。尙本年度で前幹事の任期が満了致しましたので、総会にて次期幹事に大川、三島、増田、関根、高瀬、森田の諸兄が決定しました。又幹事の連絡不充分のため記念写真に小川、五十嵐、工藤の諸兄が欠けた事を深く御詫びします。



昭和四十年は東歯七十周年に当たりますので東京会を左記の通り行ないます。記念式典に御参加のため御上京の方は是非御出席下さる様御願ひします。 日時 五月十五日（土）午後五時 場所 浅草田原町

料亭 浜 清

会費 参阡円 尙右会合に関しての詳細は何れ御通知申し上げます故、必ず御返信下さる様御願ひします。（幹事記）

五十二期会

昭和二十二年卒

諸兄には連日の診療御苦勞様です。過日クラス会費の件、書面でお願ひしましたところ多数の諸兄より送金いただき感謝しております。尙お忘れになっていらっしゃる方、至急お送金下さるようお願いいたします。これでクラス会の資金もある程度準備できましたので、今後万事スムーズに計画できるようなります。

昨年のクラス会の折、名古屋の橋本君に代表としてお願いしておきました。が、本年のクラス会には名古屋と決定してありますので、日歯学会と日と同じにして開催できるように、中京地区の諸兄にお願いします。各個人宛お願いすべきですが誌上をかりてお願い申し上げます。詳細決定次第、私の方へ御知らせいただければ幸いです。最後に諸兄の健康を祈りつつ。クラス会費納入者一〇六名（三月十八日現在）（山崎文男記）

いづみ会

昭和二十三年卒

本年度は、来る五月十四、十五、十六日にわたり、母校の七十周年記念事業が行なわれますので、昨年度のクラス会総会において、その時期を繰り上げて本部の計画に同調することが決議されました。

なお、総会期日は、五月十五日(土)午後五時三十分と決定をいたしました。その詳細については、いづれお手もとにスケジュールをお届けたいたします。季節は良し、まして母校の記念すべき事業も盛大に行なわれることですから、例年に増して、多数会員の御参加を望んで止みません。再び会える日を楽しみに、御自愛、御自重のうえ、御健斗下さい。

一期会

昭和二十八年卒

陽春の候、一期会の諸兄にはお変わりなく御活躍のことと思います。学内での近況を一つ。

◇坂田三弥君を主任教授とし大御雅文君が非常勤講師である生理学教室においては、神尾英次君、吉住典也君、田口真也君、相田英孝君、福田博君、尾上吉之君の諸兄が、また、見明清君が助教授である組織学教室においては多胡彬君が目下診療のかたわら専攻生として鋭意研究を続けています。御健斗を祈ります。

◇十周年記念アルバム、大変お待ちせしましたが、いよいよ完成の運びとなりました。近くお手許へお届け致します。(関根 弘記)

二期会

昭和二十九年卒

諸兄には益々御健勝、御活躍の事と思えます。さて、二期会昨年度京都総会の報告誠に遅くなりましたが、全国より多数の諸兄馳せ参じ誠に盛会となりました。丁度京都は紅葉の季節で、天候にもめぐまれ、楽しい会でした。十一月二十一日夕六時より旅館菊乃井で総会。舞妓をまじえ宴会。同旅館に一泊。翌二十日は京阪バスにて名所遊覧。二条城。宝鏡寺。西陣織物館。仁和寺。大覚寺。嵐山と廻り五時に解散致しました。当日の参加者はつきのとおりです。(順不同)。



金子、佐藤(正)、織家、猪鹿倉、鈴木(郁)、渡部、梅宮、坂本、室橋、原田(剛)、島田(朝)、高橋(廉)、萩原夫妻、河合、本間(昌)夫妻、熊倉、横須賀、荒野、鳴神、長塚、畑中、浮谷、嶋田(侍)、森(耕)、椎名、山内、酒井、原崎、宮下、日比、三井夫妻、黒沢、矢郷、中村(鉄)、吉川、田中(更)、森(朗)、河本、高田、松本(実)、以上です。右御報告致します。(松本 実記)

四期会

昭和三十一年卒

向春の頃、諸兄には診療に研究に御活躍の事と存じます。昨秋の総会以来、高北、西口、飯塚、藤村君など歯学博士の学位を受領され、御同慶の至りです。さて、昨秋はドイツより帰国された高井君に続いて今年四月末頃東京女子医大講師、今井忠治君がインドネシア、ガチャマハラ大学医学部口腔外科教授として二年間コロンボ計画で赴任されることに決定し、目下外務省に渡航手続中です。目下決定次第壮行会並びに銭別募金を行います。詳細は四月早々に御連絡申し上げます。詳細は四月早々に御連絡申し上げます。諸兄の御健闘を祈りつつ失礼します。(東京女子医大 岡田)

五期会

昭和三十二年卒

陽春の候、五期会諸兄姉いかがお過しでしょうか。さて、五月十四日より本学同窓会創立七十周年記念会が開かれますので、我々もこれを機会に同期会を開くことを計画しました。詳細は別便にて御送付しましたが、念の爲ここに再記いたします。出来るだけ多数の御参加を希望いたします。日時 五月十五日(土)十七時 場所 東京プリンスホテル 会費 二千元 なお、こんどの会は特別に行なう

十期会

昭和三十七年卒

こととし、恒例の十一月の会はまた改めて開く予定ですので御安心下さい。グラントの桜は今年もきれいに色どり、年々歳々花相似の感ひとしおの今日この頃ですが、皆様お元気のことと思います。先般お知らせしましたようにクラス会を二月二十日、会場を急換後楽園結婚式場に変更開催しました。参集せる者、北は北海道、南は岡山より総勢四十七名、会場が結婚式場のためか、又は始めての試みの立食形式としたためか、終始和やかなうちに進行し、予定の時間を一時間三十出も超過、名残りは尽きず十時過ぎ又の機会を約し散会しました。今回は北海道、仙台、新潟、富山、岡山等遠方からの参加者も多く幹事一同うれしく思っております。



三橋弘君を悼む

参加者は次の通りです。(順不同、旧姓) 岡本、梅田、勝田、清水、栗山、橋本、中村、難波、前田、志水、小池、藤井、水上、大菅、山田、石井、岩淵、古川、林、金山、中井、山島、平林、斎藤、岡田、芦荻、若月、初鹿、松坂、高江洲、矢内、清野、小坂、山崎、八木、安部井、土屋、皆葉、森下、田中、鈴木、山路、花上、石川、奥山、溝上、遠藤、以上四十七・五名。なお、今回の写真並びに欠席者の返事等をまとめた小冊子を作り保存してあります。(幹事記)

昭和二年卒の三橋弘君は四十年二月六日に急逝されたことが報せられております。福井新聞によると「二月六日午後四時四十五分頃、敦賀市来迎寺橋寄りの車道で、モーターバイクに乗っていた三橋弘さんが、雪の中に倒れているのを通行人が発見、救急車で市立敦賀病院へ運んだがすでに死亡していた。敦賀署の調べでは、三橋さんは勤め先の同市東洋町東洋紡教員工場診療所からの帰途、持病の狭心症の発作を起して転倒しそのまま死んだものらしい」という次第であります。卒業以来一、二回お会いしただけで、詳細にわたる記事も出来ませんが洵に惜しいことを致しました。御冥福と御遺族のお仕合せとを祈つてやみません。(北村勝衛記)

住所変更及び住居番地変更

- 滝沢一郎 (2)台東区寿二丁目一〇ノ三 電話(81)一三一七
- 山添新一郎 5 台東区元浅草一丁目一〇ノ五
- 池野谷博 21 台東区寿二丁目七ノ一 電話(81)七四二四
- 山本欽司 13 台東区寿二丁目一〇ノ三 電話(81)六〇〇九
- 下山崇 27 台東区三丁目一〇ノ二 電話(81)八九七九
- 栗林明子 (衛)前橋市南橋町一市住宅P/四四一
- 鹿野悦生 19 世田谷区松原町三丁目三二ノ一
- 安藤義一 (2)荒川区西尾久六丁目六ノ一 電話(328)〇八一三
- 松本宣洞 (6)南多摩郡多摩町桜ヶ丘三ノ一七
- 今西孝博 32 北多摩郡保谷町下保谷町字東入一三六二ノ七
- 原口勲 39 熊谷市箱田一八五
- 上田昭雄 39 中野区橋場町三一
- 石井恒 34 世田谷区代田三丁目二三ノ一四
- 岩田春子 34 世田谷区新町一
- 林田清 (6)世田谷区五丁目一ノ五
- 金子芳洋 32 荒川区西尾久六丁目二ノ一
- 金子初枝 32 同右
- 谷一昌 15 板橋区板橋三丁目二五ノ二
- 原田望成 29 目黒区緑ヶ丘二丁目一七ノ一二
- 堤正紀 (4)目黒区上目黒七ノ九八四
- 岡一夫 20.9 中央区月島通り二ノ一八四
- 岡田充弘 31 神奈川県逗子市山根三八四
- 金山公彦 山梨県韭崎市韭崎町一四七四
- 渡辺昌夫 (7)世田谷区松原二丁目四〇ノ二三

- 渡辺富士夫 17.9 世田谷区松原二丁目四〇ノ二三
- 藤沢晚美 23 愛媛県新居浜市沢津小松原労災病院官舎
- 木村哲男 15.12 墨田区東向島六丁目三八ノ一六
- 中村順一 23 仙台市東二番丁九一
- 土屋博 平奈川県茅ヶ崎市浜見平団地一五番四ノ五〇
- 水野龍吾 (9)沼津市中住町五二八ノ四
- 大谷一郎 (6)福井市照手町一丁目一四二四
- 寺尾一栄 39 神奈川県茅ヶ崎市浜見台平一六番四ノ一〇二
- 片倉恵男 目黒区洗足二二八七梅林莊一五
- 高松知三 28 前橋市岩神町一〇七六
- 高柳秀夫 5 埼玉県北葛飾郡幸手町
- 高井千一 38 新潟県燕市東太田三七三二
- 大村太子二 (3)宮城県気仙沼市魚町三ノ一〇
- 鈴木富邦 39 市川市須和田町一ノ九
- 吉沢信夫 39 市中野莊二号
- 松野新 (6)札幌市登川四二〇ノ三
- 兵藤弥夫 12 新宿区牛込津久戸町二三 厚生年金病院
- 杉山登 39 中央区日本橋本町二丁目四 伊東商事株式会社 会社歯科診療室
- 青木忠平 桐生市本町五ノ四五
- 松村宏文 38 世田谷区新町一ノ七一 さつき荘二階三号

- 鈴木肇 26 藤沢市藤沢四
- 唐仁原景秀 7 神奈川県秦野市渋沢九三
- 藤本毅 22 名古屋市長海町字螺貝六一番ノ一五、五三街三六
- 小林崇志 35 愛知県半田市銀座本町二ノ三五
- 榊原悠紀田郎 12 名古屋市中千種区末盛通二ノ二一 愛知学院歯学部
- 久保田英雄 27 市川市新田町四丁目一五九ノ三
- 吉木周作 32 杉並区高円寺北二丁目一四ノ二五 加茂ビル三ノ三
- 高原映忠 25 千葉市星久喜町一一九七ノ二
- 大西順子 (衛)中野区中野駅前町七小島齒科医院内
- 石田礼一郎 6 豊橋市植田町中屋敷九
- 館山諄一 23 北海道岩見沢市二条東二
- 酒井肇 (7)岡山県邑久郡邑久町出明六一〇〇
- 重藤信 33 大分県大分市府内町二丁目五ノ三 一九ビル
- 改名
- 鈴木肇 26 旧名斧吉 藤沢市藤沢四

左の会員の住所お心当りの方はお知らせ願います。

- 川村勇 1 龜田 藩 6 福島 進
- 8 木村次男 8 鈴木 操 (6)石沢清雄
- (6)山岸良門 18.9 高橋立夫 27 竹花和朗
- 33 大和田哲 34 鈴木道子 35 信岡博美 和田貴美子

発行所 東京都千代田区神田三崎町一ノ七
電話 東京(二六)三三三三 四二二一(代)
編集兼発行人 渡辺富士夫

新しい感覚の能率的なユニット
エアーゼット、コンプレッサー内蔵

Leo-II

- 高性能40万回転エアーゼット
- 油のいらぬ強力コンプレッサー
- リモートコントロールのコップ給水
- 一万回転アローエンジン

¥ 498,000(運賃別)

森田製作所
森田歯科商店
東京・大阪・京都・小倉
名古屋・新神戸・福岡

| 逝 | 去 | 会 | 員 |
|----------|----------|------|--------------|
| 笹本 允男 | 40 1 26 | 静岡県 | |
| 古明地義勇 | 40 2 3 | 北区 | 市川 鶴男 |
| 荒深 金作 | 40 1 31 | 岐阜県 | (1)橋本 儀一 |
| 滝沢 達 | 40 2 2 | 神奈川県 | 3 似鳥 武雄 |
| 3 平田 増雄 | 29 12 11 | 鳥取県 | (3)藤井悦太郎 |
| (4)田中 専与 | 40 1 24 | 北多摩郡 | 18.9 茂原 辰巳 |
| 13 塙 雄次 | 40 1 15 | 神奈川県 | 都築 三郎 |
| 下田 隆 | 40 1 13 | 宮城県 | 2 三橋 弘 |
| (4)福島 弘 | 39 1 28 | 大阪府 | 中村小十郎 |
| | | | 40 1 26 静岡県 |
| | | | 40 2 6 福井県 |
| | | | 40 1 28 愛知県 |
| | | | 39 11 28 岡山県 |
| | | | 39 4 19 静岡県 |
| | | | 40 3 4 江戸川 |
| | | | 39 11 23 茨城県 |
| | | | 40 2 22 練馬区 |